

PID-16 Marital status 婚姻状況 (IS) 00119

使用者定義テーブル 0002 - Marital status婚姻状況

Value	Description
A	Separated 別居
D	Divorced 離婚
M	Married 既婚
S	Single 未婚
W	Widowed 死別

PID-17 Religion 宗教 (IS) 00120

PID-18 Patient account number 患者会計番号 (CX) 00121

定義：料金、支払いなどがすべて記録される勘定によって割り当てられる数字。患者の会計を識別するために使用される。

PID-19 SSN number - patient SSN番号－患者 (ST) 00122

定義：患者の社会保障番号。

PID-20 Driver's license number - patient 患者の運転免許証番号 (CM) 00123

成分：〈免許証番号〉 〈発行の州、地方、国〉。

定義：患者の運転免許証番号。いくつかのサイトは、患者を識別する一意的な番号としてこれを使用してもよい。第2の成分のデフォルトは患者が登録されている州である。

PID-21 Mother's identifier 母親の識別子 (CX) 00124

定義：例えば新生児用にリンク・フィールドとして使用される。典型的に、患者IDあるいは会計番号が使用されるかもしれない。

PID-22 Ethnic group 人種のグループ (IS) 00125

定義：患者の民族的起源を定義する。

PID-23 Birth place 誕生場所 (ST) 00126

定義：患者の誕生の場所を示す。

PID-24 Multiple birth indicator多胎児誕生標識 (ID) 00127

定義：患者が多胎児の一人であったかどうかを示す。Y/Nインジケータを使用。

PID-25 Birth order 誕生順序 (NM) 00128

定義：患者が多胎児の一人であった場合、誕生順序を示す値。

PID-26 Citizenship 市民権 (IS) 00129

定義：患者の市民権の国を示す。推奨値として、使用者定義テーブル0171－国コード又はISO3166を参照すること。

PID-27 Veterans military status 退役軍人の状況 (CE) 00130

PID-28 Nationality 国籍 (CE) 00739

定義：患者の属する国籍や国グループを示す。市民権と違い複数指定可。

PID-29 Patient death date and time 患者死亡日時 (TS) 00740

定義：患者死亡日時、臨床研究や管理用。

PID-30 Patient death indicator 患者死亡識別 (ID) 00741

定義：患者が死亡したか否かY/Nで表現。

6.4 PV1 - patient visit segment 来院情報セグメント

PV1セグメントは、来院に関する情報を通信するために登録/ADTアプリケーションによって使用される。このセグメントは複数の来院統計記録を同じ患者の会計に送るため、又は単一の来院記録を複数の会計に送るために、使用することができる。個々のサイトは必ずこのセグメントを使用しなければならない。

図 3-3. PV1 attributes

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O		00131	Set ID - Patient Visit セットID-来院
2	1	IS	R		00132	Patient Class 患者クラス
3	12	PL	O		00133	Assigned Patient Location 患者所在場所
4	2	IS	O		00134	Admission Type 入院タイプ
5	20	CX	O		00135	Preadmit Number 仮入院番号
6	12	PL	O		00136	Prior Patient Location 患者の以前の所在
7	60	XCN	O	Y	00137	Attending Doctor 主治医
8	60	XCN	O	Y	00138	Referring Doctor 紹介医師
9	60	XCN	O	Y	00139	Consulting Doctor コンサルタント医師
10	3	IS	O		00140	Hospital Service 病院サービス
11	12	PL	O		00141	Temporary Location 一時的な所在
12	2	IS	O		00142	Preadmit Test Indicator 仮入院検査標識
13	2	IS	O		00143	Readmission Indicator 再入院標識
14	3	IS	O		00144	Admit Source入院元
15	2	IS	O	Y	00145	Ambulatory Status 外来の状況
16	2	IS	O		00146	VIP Indicator VIP標識
17	60	XCN	O	Y	00147	Admitting Doctor 入院許可医師
18	2	IS	O		00148	Patient Type 患者タイプ
19	15	CK	O		00149	Visit Number 来院回数
20	50	CM	O	Y	00150	Financial Class 財務クラス
21	2	IS	O		00151	Charge Price Indicator 有償価格標識
22	2	IS	O		00152	Courtesy Code 優待コード
23	2	IS	O		00153	Credit Rating 信用格付け
24	2	IS	O	Y	00154	Contract Code 契約コード
25	8	DT	O	Y	00155	Contract Effective Date 契約発効日
26	12	NM	O	Y	00156	Contract Amount 契約金額
27	3	NM	O	Y	00157	Contract Period 契約期間
28	2	IS	O		00158	Interest Code 利息コード
29	1	IS	O		00159	Transfer to Bad Debt Code 不良負債転換コード
30	8	DT	O		00160	Transfer to Bad Debt Date 不良負債転換日付
31	10	IS	O		00161	Bad Debt Agency Code 不良負債代理コード
32	12	NM	O		00162	Bad Debt Transfer Amount 不良負債転換額
33	12	NM	O		00163	Bad Debt Recovery Amount 不良負債回収額
34	1	IS	O		00164	Delete Account Indicator 会計削除標識
35	8	DT	O		00165	Delete Account Date 会計削除日付
36	3	IS	O		00166	Discharge Disposition 退院処置
37	25	IS	O		00167	Discharged to Location 退院先
38	2	IS	O		00168	Diet Type 給食タイプ
39	2	IS	O		00169	Servicing Facility サービス施設
40	1	IS	O		00170	Bed Status ベッド状況
41	2	IS	O		00171	Account Status 会計状況
42	12	PL	O		00172	Pending Location 保留所在
43	12	PL	O		00173	Prior Temporary Location 退院先の一時的な所在
44	26	TS	O		00174	Admit Date/Time 入院日付/時刻
45	26	TS	O		00175	Discharge Date/Time 退院日付/時刻
46	12	NM	O		00176	Current Patient Balance 患者の差引不足高
47	12	NM	O		00177	Total Charges 合計金額
48	12	NM	O		00178	Total Adjustments 合計調整金額
49	12	NM	O		00179	Total Payments 合計支払金額
50	20	CX	O		00180	Alternate Visit ID 代替来院ID
51	1	IS	O		01226	Visit Indicator 来院識別
52	60	XCN	O	Y	01224	Other Healthcare Provider 他のヘルスケア供給者

PV1フィールド定義

PV1-1 Set ID - patient visit セットID-来院 (SI) 00131
 定義：トランザクションを一意的に識別する番号。

PV1-2 Patient class 患者クラス (IS) 00132
 定義：サイトにおいて患者を分類するためにシステムで使われる共通のフィールド。入院、外来などの区別を表現する。

使用者定義テーブル 0004 - Patient class

Value	Description
E	Emergency 救急
I	Inpatient 入院患者
O	Outpatient 外来患者
P	Preadmit 予備入院
R	Recurring Patient 再来院患者
B	Obstetrics 産科
C	Checkup 人間ドック

PV1-3 Assigned patient location 患者所在場所 (PL) 00133
 成分： <point of care 病棟・診療科・診察室など (IS)> ^ <room 病室 (IS)> ^ <bed 病床 (IS)> ^ <facility 施設 (HD)> ^ <location status 状態 (IS)> ^ <person location type 区分 (IS)> ^ <building 建物 (IS)> ^ <floor 階 (IS)> ^ <location description 詳細 (ST)>
 定義：病院、診療科、病棟、病室、ベッド等を表現する。新規の場所は最初に割当てた場所、あるいは患者の移動先の場所である。トランザクションの取消しや、退院の場合、現在の部屋番号をこのフィールド表現する。

注：PLデータ型のフィールドは値の第5の成分(ベッド状況)が存在する場合、それは、PV1-40の値に取って代わる。

使用者定義テーブル 0116 - Bed status

Value	Description
C	Closed 閉鎖
H	Housekeeping 清掃
O	Occupied 使用
U	Unoccupied 空き
K	Contaminated 汚染
I	Isolated 隔離

PV1-4 Admission type 入院タイプ (IS) 00134
 定義：患者が入院していたか入院予定の状況を示す。

使用者定義テーブル 0007 - Admission type

Value	Description
A	Accident 事故
E	Emergency 救急
L	Labor and Delivery 陣痛および出産
R	Routine 通常

PV1-5 Pre-admit number 仮入院番号 (CX) 00135
 定義：患者の仮入院番号を一意的に識別する。システムでは、仮入院番号を請求番号として患者が入院した後も使用し続けることもできる。

PV1-6 Prior patient location 患者の以前の所在 (PL) 00136
 定義：新患であればここはNULLである。患者が転院されていれば、それは以前の患者所在を含んでいる。

PV1-7 Attending doctor 主治医 (XCN) 00137
 定義：主治医の情報で、複数の名前やIDを持つ場合もある。

PV1-8 Referring doctor 紹介医師 (XCN) 00138
 定義：紹介医師の情報で、複数の名前やIDを持つ場合もある。

PV1-9 Consulting doctor コンサルティング医師 (XCN) 00139
 定義：コンサルティング医師の情報。

- PV1-10 Hospital service 病院サービス (IS) 00140
 定義：患者が受ける処置又は手術のタイプ。トリガーイベントA01,A02,A14,A15に関して要求されるフィールド。
- PV1-11 Temporary location 一時的な所在 (PL) 00141
 定義：割り当てられた所在以外の所在であって、一時的に必要なもの(たとえばOR)。
- PV1-12 Pre-admit test indicator 仮入院検査標識 (IS) 00142
 定義：患者は入院するために仮入院検査を受けねばならないことを示す。
- PV1-13 Re-admission indicator 再入院標識 (IS) 00143
 定義：患者が施設および環境に再入院することを示す。再入院はR、そうでなければNullである。再発患者の来院も示すことができる。
- PV1-14 Admit source 入院元 (IS) 00144
 定義：患者がどこに入院していたかを示す。
- PV1-15 Ambulatory status 外来の状況 (IS) 00145
 定義：提案値として使用者定義テーブル0009-外来状況を参照すること。

使用者定義テーブル 0009 - Ambulatory status

Value	Description
A0	No functional limitations 機能制限なし
A1	Ambulates with assistive device 補助機器を使用して来院
A2	Wheelchair/stretchers bound 車椅子/担架を使用して来院
A3	Comatose; non-responsive 意識不明；反応なし
A4	Disoriented 方向感覚なし
A5	Vision impaired 視力障害あり
A6	Hearing impaired 聴力障害あり
A7	Speech impaired 言語障害あり
A8	Non-English speaking 英語以外を話す
A9	Functional level unknown 機能のレベル未知
B1	Oxygen Therapy 酸素治療
B2	Special equipment (tubes, IVs, catheters) 特別な装置(チューブ、IV、カテーテル)
B3	Amputee 手足の切断手術を受けた人
B4	Mastectomy 乳房切除術
B5	Paraplegic 対麻痺
B6	Pregnant 妊婦

- PV1-16 VIP indicator VIP標識 (IS) 00146
 定義：VIPのタイプを識別する使用者定義コード。
- PV1-17 Admitting doctor 入院時医師 (XCN) 00147
 定義：入院時の医師の情報、複数の名前やIDのこともある。
- PV1-18 Patient type 患者タイプ (IS) 00148
 定義：患者のタイプを示すサイト特定の値。
- PV1-19 Visit number 来院回数 (CK) 00149
 定義：患者の各来院に割り当てられた一意的な数。
- PV1-20 Financial class 財務クラス (CM) 00150
 定義：診療報酬の源を識別する目的で患者に割り当てられた、主要な財務のクラス。
- PV1-21 Charge price indicator 有償価格標識 (IS) 00151
 定義：部屋およびベッドの料金にどの価格表を使用するか決めるために使用されるコード。
- PV1-22 Courtesy code 優待コード (IS) 00152
 定義：患者が特定の優待を受けるかどうかを示すコード。
- PV1-23 Credit rating 信用格付け (IS) 00153
 定義：過去の信用経験を決定する使用者定義コード。
- PV1-24 Contract code 契約コード (IS) 00154
 定義：会計残高を決済するための施設および保証人による契約のタイプを識別する。

- PV1-25 Contract effective date 契約有効日付 (DT) 00155
定義：契約が始まる日付。
- PV1-26 Contract amount 契約金額 (NM) 00156
定義：保証人によって各期に契約ごとに支払われる金額。
- PV1-27 Contract period 契約期間 (NM) 00157
定義：使用者が定義する期間で、契約の持続期間を指定する。
- PV1-28 Interest code 利息コード (IS) 00158
定義：任意の未決済の金額に対し保証人に請求される利息額を示す。
- PV1-29 Transfer to bad debt code 不良負債変換コード (IS) 00159
定義：会計が不良負債に転換されたこと及び理由を示す。
- PV1-30 Transfer to bad debt date 不良負債変換日付 (DT) 00160
定義：会計が不良負債状況に転換された日付。
- PV1-31 Bad debt agency code 不良負債代理コード (IS) 00161
定義：会計が転換された先の不良負債代理を一意的に識別する。
- PV1-32 Bad debt transfer amount 不良負債転換額 (NM) 00162
定義：不良負債に転換された金額。
- PV1-33 Bad debt recovery amount 不良負債回収額 (NM) 00163
定義：会計上の保証人から回収された金額。
- PV1-34 Delete account indicator 会計削除標識 (IS) 00164
定義：会計がファイルから削除されたこと及びその理由を示す。
- PV1-35 Delete account date 会計削除日付 (DT) 00165
定義：会計がファイルから削除された日付。
- PV1-36 Discharge disposition 退院処置 (IS) 00166
定義：退院(つまり、帰宅；期限満了；など)の時の患者の処置。
- PV1-37 Discharged to location 退院先 (IS) 00167
定義：患者の退院先の施設を示す。
- PV1-38 Diet type 給食タイプ (IS) 00168
定義：患者用の特別の給食タイプを示す。
- PV1-39 Servicing facility サービス施設 (IS) 00169
定義：複数の施設環境の中でこの来院が関係している施設を示す。
- PV1-40 Bed status ベッド状況 (IS) 00170
定義：下位互換のためののみ使用。PLデータ型の第5成分状況を使用すること。
- PV1-41 Account status 会計状況 (IS) 00171
定義：会計状況
- PV1-42 Pending location 保留所在 (PL) 00172
定義：患者が移動する先の看護ステーション、部屋、ベッド、施設IDおよびベッド状況を示す。第5の成分(ベッド状況)中に値がある場合、それは、PV1-40の値に取って代わる。
- PV1-43 Prior temporary location 以前の一時的な所在 (PL) 00173
定義：患者が到着しているか出発している場合、又は一般更新イベントのために使用される。
- PV1-44 Admit date/time 入院日時 (TS) 00174
定義：入院の日付/時刻。
- PV1-45 Discharge date/time 退院日時 (TS) 00175
定義：退院の日付/時刻。

PV1-46 Current patient balance 患者の差引不足額 (NM) 00176

定義：来院患者の現在の差引不足額。

PV1-47 Total charges 合計有償金額 (NM) 00177

定義：来院有償金額の合計

PV1-48 Total adjustments 合計調整金額 (NM) 00178

定義：来院調整金額の合計

PV1-49 Total payments 合計支払金額 (NM) 00179

定義：来院の支払い金額の合計

PV1-50 Alternate visit ID 代替来院ID (CX) 00180

定義：来院ID番号。このIDは入院時に患者を一意的に識別するために使用される。

PV1-51 Visit indicator 来院標識 (IS) 01226

定義：データ送信が患者の来院によるのか会計によるのかの識別に使用。

使用者定義テーブル 0326 - Visit Indicator

Value	Description
A	Account Level 会計
no value	Visit Level 来院

PV1-52 Other healthcare provider 他のヘルスケア供給者 (XCN) 01224

定義：他のヘルスケア供給者を示す。(例えば看護婦, 付き添い, 補助医師)複数の関係者に送ることができる。

6.5 AL1 - patient allergy information segment 患者アレルギー情報

AL1セグメントは、多様なタイプの患者アレルギー情報を含んでいる。ほとんどのこの情報は使用者定義テーブルによるだろう。各AL1セグメントは単一の患者アレルギーについて記述する。

図 3-6. AL1 attributes

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	SI	R		00203	Set ID - Allergy セットID - アレルギー
2	2	IS			00204	Allergy Type アレルギータイプ
3	60	CE	R		00205	Allergy Code/Mnemonic/Description コード/記憶法/記述
4	2	IS			00206	Allergy Severity アレルギー重症度
5	15	ST			00207	Allergy Reaction アレルギー反応
6	8	DT			00208	Identification Date 認識日付

AL1フィールド定義

AL1-1 Set ID - allergy セットID-アレルギー (SI) 00203

定義：患者の記録中のアレルギー記述の追加・変更・削除のために個々のトランザクションを一意的に識別する数字である。セグメントの反復が許されるメッセージについては、反復を識別するためにセットIDフィールドが使用される。

AL1-2 Allergy type アレルギータイプ (IS) 00204

定義：一般的なアレルギーカテゴリー(薬、食物、花粉など)を示す。テーブル127参照

使用者定義テーブル 0127 - Allergy type

Value	Description
DA	Drug Allergy 薬剤アレルギー
FA	Food Allergy 食事アレルギー
MA	Miscellaneous Allergy 様々なアレルギー
MC	Miscellaneous Contraindication 様々な禁忌

AL1-3 Allergy code/mnemonic/description アレルギーコード/記憶法/記述 (CE) 00205

定義：一意的に、特別のアレルギーを識別する。この要素は、ある外部かつ標準のコード化するシステム(それは識別されねばならない)に一致させたり、あるいは、局所的な記述、主に文章の記述あるいは記憶法の記述によっても良い。

AL1-4 Allergy severity アレルギー重症度 (IS) 00206

定義：アレルギー(重度、中程度、軽度など)の一般的な重症度を示す。テーブル128参照。

使用者定義テーブル 0128 - Allergy severity アレルギー重症度

Value	Description
SV	Severe 重度
MO	Moderate 中程度
MI	Mild 軽度

AL1-5 Allergy reaction アレルギー反応 (ST) 00207

定義：特定のアレルギー反応(震え、くしゃみ、発疹など)を短く文章で記述したもの。

AL1-6 Identification date (DT) 00208

定義：アレルギーが認められた日付

6.6 ORC - common order segment 共通オーダーセグメント

共通オーダーセグメント(ORC)は、すべてのオーダーに共通なデータ要素を伝達するために使用される(要求されるすべてのタイプのサービス)。場合によっては、ORCは文字列ORC|OK|<依頼者オーダー番号>|<実施者オーダー番号>|<CR>のように単純になる。

詳細内容がオーダーのために必要ないならば、オーダー詳細セグメントは省略してよい。たとえば、オーダーを保留するためには、ORCで次のフィールドを付けて伝達する(HDの値付きのORC-1-オーダー制御、ORC-2-依頼者オーダー番号、およびORC-3実施者オーダー番号)。

ORCのフィールドとオーダー詳細セグメントの中のフィールドとの間にいくつかの重複がある。これらは以下の節に述べる。

ORC使用注記

a) 依頼者オーダーグループ

本規格では、複数のオーダーを1つのグループに集めるメカニズムをサポートする。大抵の場合、これは1人の患者に対して「依頼セッション」を表すために使用される。

オーダーグループは、ORC-4-依頼者グループ番号に関連するオーダー(ORCs)のリストである。グループは、依頼者が最初のオーダーに依頼者グループ番号を付けた時に確立する。オーダーグループは、同じ依頼者グループ番号を有するすべてのORCsおよびすべての詳細セグメントから成る。オーダーは、グループからキャンセルを使用して除去したり、取換えや親子メカニズムを使用して追加したりできる。新規オーダーは、その他の方法でのグループへの追加はできない。

b) 重複フィールド

ORCは、すべてのオーダー(すなわち要求されたサービス)に共通なフィールドを一様に定義するよう意図されている。ただし、一部のORCフィールドは、一部のオーダー詳細セグメント(たとえばOBR、RXO)では重複する。たとえば、ORC-2依頼者オーダー番号は、OBR-2依頼者オーダー番号フィールドと同じ意味および目的を持つ。これによって過去のバージョンおよびASTMとの上位互換性が保たれる。

これらのフィールドを使用する規則では、ORCに現れない値はオーダー詳細セグメントに現れねばならない。しかし、両方の箇所に値を入れて混乱を避けることが望ましい。

c) 親子 - キャンセル、保留、中断

親オーダーのキャンセル、保留または中断の要求の伝達は、その要求は親オーダーおよびすべての関連の子オーダーに対して再帰的に適用されるよう意図されている。たとえば

- 1) EKGアプリケーションが3回のEKGに対するオーダーを受け、これが3日連続で毎朝行われるとする。
- 2) EKGアプリケーションは3つの子オーダーを、各々の要求されたEKGに対して1つずつ作成する。
- 3) 元の親オーダーを取消す要求が受取られた時に1日目のEKGが実施されていた。(親は取消せなかった)
- 4) 残りの、未実施の子は要求の結果として取り消される。

図 4-1. ORC attributes ORCの属性

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	2	ID	R		00215	Order Control オーダ制御
2	22	EI	C		00216	Placer Order Number 依頼者オーダ番号
3	22	EI	C		00217	Filler Order Number 実施者オーダ番号
4	22	EI	O		00218	Placer Group Number 依頼者グループ番号
5	2	ID	O		00219	Order Status オーダ状態
6	1	ID	O		00220	Response Flag 応答フラグ
7	200	TQ	O		00221	Quantity/Timing 数量/タイミング
8	200	CM	O		00222	Parent 親
9	26	TS	O		00223	Date/Time of Transaction トランザクション日時
10	120	XCN	O		00224	Entered By 入力者
11	120	XCN	O		00225	Verified By 検証者
12	120	XCN	O		00226	Ordering Provider 依頼者
13	80	PL	O		00227	Enterer's Location 入力場所
14	40	XTN	O	Y/2	00228	Call Back Phone Number コールバック用電話番号
15	26	TS	O		00229	Order Effective Date/Time オーダ有効日時
16	200	CE	O		00230	Order Control Code Reason オーダ制御コードの理由
17	60	CE	O		00231	Entering Organization 入力組織
18	60	CE	O		00232	Entering Device 入力装置
19	120	XCN	O		00233	Action By 発動者

ORCフィールド定義

ORC-1 Order control オーダー制御 (ID) 00215

定義：オーダーセグメントの機能を決定する。採りうる値はテーブル0119-オーダー制御を参照。コードは大別すると次の3つのカテゴリーに入る。

a) イベント要求

イベントを発動するために、『NW』(新規オーダー)とか『CA』(オーダー要求のキャンセル)のようなコードが使用される。

b) イベント肯定応答承認

イベント要求に返答するために、『OK』(オーダーが受け入れられた)とか『CR』(要求されたようにオーダーが取り消された)のようなコードが使用される。

c) イベント通知

イベントが発生したことを他のアプリケーションに知らせるために、『OC』(オーダーが取り消された)とか『OD』(オーダーが中断された)のようなコードが使用される。いかなるアプリケーション応答も必要としない。

イベント要求コードは、イベントを発動することを意図する。イベント肯定応答コードは、イベントを要求したアプリケーションに回答することを意図する。イベント通知コードは、他のアプリケーションにたとえば次のようなことを知らせることを意図する。すなわち実施者がオーダーに対し何かアクションをとりそれを他のアプリケーション、たとえば依頼者が知る必要がある場合等である。

実施者、依頼者、および他のアプリケーションは、イベント要求、イベント肯定応答、およびイベント通知型トリガーイベントを相互互換的に使用できる。しかしながら、あるオーダー制御コード(例 CR)は実施者のみが生成することができ、他のオーダー制御コード(例 CA)は依頼者のみが生成することができる。

テーブル 0119 - オーダー制御コードとその意味

Value ¹	Description	Originator ²	Field Note ³
NW	New order 新規オーダー	P	i
OK	Order accepted & OK オーダー受付 & OK	F	i
UA	Unable to Accept Order 受付オーダーキャンセル	F	n
CA	Cancel order request オーダーキャンセル依頼	P	a
OC	Order canceled オーダーキャンセル完了	F	
CR	Canceled as requested オーダーキャンセル完了(要求通り)	F	
UC	Unable to cancel オーダーキャンセル(不能)	F	b
DC	Discontinue order request オーダー中断要求	P	c
OD	Order discontinued オーダー中断	F	
DR	Discontinued as requested オーダー中断(要求通り)	F	
UD	Unable to discontinue オーダー中断(不能)	F	
HD	Hold order request オーダー保留要求	P	
OH	Order held オーダー保留	F	
UH	Unable to put on hold オーダー保留(不能)	F	
HR	On hold as requested オーダー保留(要求通り)	F	
RL	Release previous hold 前回保留オーダーを解放	P	
OE	Order released オーダー解放	F	
OR	Released as requested オーダー解放(要求通り)	F	
UR	Unable to release オーダー解放(不能)	F	
RP	Order replace request オーダー修正依頼	P	e,d,h
RU	Replaced unsolicited オーダー修正通知(実施者)	F	f,d,h
RO	Replacement order 修正後オーダー	P,F	g,d,h,i
RQ	Replaced as requested オーダー修正受理	F	d,e,g,h
UM	Unable to replace オーダー修正(不能)	F	
PA	Parent order 親オーダー	F	i
CH	Child order 子オーダー	F,P	i
XO	Change order request オーダー変更要求	P	
XX	Order changed, unsol. オーダー変更(非要求)	F	

Value ¹	Description	Originator ²	Field Note ³
UX	Unable to change オーダー変更(不能)	F	
XR	Changed as requested オーダー変更(要求通り)	F	
DE	Data errors データエラー	P,F	
RE	Observations to follow 検査付帯情報	P,F	j
RR	Request received 要求受付	P,F	k
SR	Response to send order status request 送信オーダー状態応答	F	
SS	Send order status request 要求	P	
SC	Status changed オーダー状態要求送信	F,P	
SN	Send order number 状態変更	F	l
NA	Number assigned オーダー番号送信	P	l
CN	Combined result 統合検査結果	F	m
RF	Refill order request 補充オーダー要求	F, P	o
AF	Order refill request approval 補充オーダー要求承認	P	p
DF	Order refill request denied 補充要求オーダー拒否	P	q
FU	Order refilled, unsolicited オーダー補充済、非要求	F	r
OF	Order refilled as requested オーダー補充済、	F	s
UF	Unable to refill 補充不可	F	t

注記:

- 1 オーダー制御値フィールド。
- 2 『F』: この値は、実施者から開始し、依頼者他に送られる。『P』: この値は、依頼者または、依頼者特権(インタフェースネゴシエーションにおいて同意したような)を持つ他のアプリケーションから開始する。*
- 3 コードの説明については、次のテーブルの注を見ること。

ORCのオーダー制御コードのためのテーブルの注。

- CA
 オーダキャンセル依頼は、以前にオーダーしたサービスを行わないようにとの要求である。キャンセル要求の確認は、実施者によっておこなわれる。たとえば、CRの(ORC-1-オーダー制御)値を持つメッセージである。
- UC
 UC オーダーキャンセル(不能)コードは、依頼されたサービスが実施者によって取り消せないポイントにあるとき、あるいは、現場の取り決めで実施者によるキャンセルを禁止するとき使用される。このコードの使用は、ORC-6-応答フラグに従う。
- DC
 オーダー中断要求コードは、進行中の依頼されたサービスをやめるために使用される。それは、キャンセル要求と同じではない。それは、オーダーが起こるのを防止するために使用される。
- d) RP, RQ, RU, RO
 オーダー修正依頼は、以前に依頼された、1個以上のオーダーの置き換えである。取換えられたオーダーは、あたかも取り消されたオーダーのように扱われる。依頼されたサービスが取換えられるかどうか、いつ取換えるかは、現場独自で決定する。オリジナルのオーダーがもとのままであることをサイトが要求するならば、親/子オーダー制御コードを使用する。このような時は、オーダー修正コードを使用しない。
 取換えられる各々のオーダーには、RP(実施者に対するオーダー修正依頼)のORC-1-オーダー制御値またはRU(実施者によって作成された、オーダー修正通知(実施者))を使用すること。RUは実施者によって使用され、依頼者および、または他のシステムに通知するためのものである。現場の取り決めによって、ORCセグメント(RPまたはRUと)の後には、そのオリジナルのオーダー詳細セグメントが続いてもよい。ORCセグメント(RPまたはRUと)の後には、RO(修正後オーダーを示す)のORC-1-オーダー制御値をもつ、ORCセグメントが続かなければならない。現場の取り決めによっては、RO値を持つORCは、オーダー詳細セグメントが後に続いてもよい。
 たとえば、部門のアプリケーションが2個のOBRオーダーを3つの異なったオーダーで取換えていたと仮定する。セグメントの連続は、次の通りになる。

図 4-2. RU and RO usage (example)

Segment	Order Control	Comment
ORC	RU	1st replaced ORC
OBR		1st replaced order's detail segment

Segment	Order Control	Comment
ORC OBR	RU	2nd replaced ORC 2nd replaced order's detail segment
ORC OBR	RO	1st replacement ORC 1st replacement order's detail segment
ORC OBR	RO	2nd replacement ORC 2nd replacement order's detail segment
ORC OBR	RO	3rd replacement ORC 3rd replacement order's detail segment

ORC-6-応答フラグの値によって、OBRセグメントが存在せねばならないかどうか決定される。この取換え方法は、取換えのすべての可能なケースを扱う：1個から1個へ、多数から1個へ、1個から多数へ、および多数から多数へである。もし依頼者が実施者に2つのRPの付いたこの要求を送り実施者から依頼者への応答があるとすると、2つのRU(オーダー修正通知(実施者))は2つのRQ(オーダー修正受理)となる。

図 4-3. RQ and RO usage (example)

Segment	Order Control	Comment
ORC OBR	RQ	1st replaced ORC 1st replaced order's detail segment
ORC OBR	RQ	2nd replaced ORC 2nd replaced order's detail segment
ORC OBR	RO	1st replacement ORC 1st replacement order's detail segment
ORC OBR	RO	2nd replacement ORC 2nd replacement order's detail segment
ORC OBR	RO	3rd replacement ORC 3rd replacement order's detail segment

- e) RP, RQ
オーダー取換え要求コードは依頼アプリケーションの要求に応じて、実施者が1個以上の新規オーダーを1個以上の新規オーダーと取換えることを許可する。
- f) RU
オーダー修正通知(実施者)コードは依頼アプリケーションから要求されることなしに実施アプリケーションが別なアプリケーションに知らせることを許可する。
- g) RO, RQ
取換えオーダーコードは実施者のアプリケーションによってオーダーされたサービスの正確な取換えを指示する別なアプリケーションに送られる。それは上記のRPとRUのオーダー制御コードによって使用される。
- h) RP, RQ, RU, RO
ROの制御値をもつORCセグメントのオーダー番号の規則は取換え型(RPまたはRU)によって決定される。
RU型(すなわち実施者からのオーダー修正通知)のときには、実施者オーダー番号は、実施アプリケーションによっていつものように生成される。依頼者オーダー番号は、RUのオーダー制御値つきの最初に送られたORCの依頼者オーダー番号と全く同一である。
RP型(すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダー修正依頼)のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーのためと同一の手順を使用して、実施アプリケーションによって生成される。
取換えシーケンスがORUメッセージ(すなわち検査結果報告の間に)において使用される時の、オーダー修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。
- 1) ROのオーダー制御値つきのORC
 - 2) いかなるOBRセグメント(いかなるオーダー詳細セグメントによって変えられる)
 - 3) 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く
 - 4) NTEセグメントは、定型ORUメッセージにおけるのと同様にOBR(あるいはいかなる

オーダー詳細セグメント)またはOBXセグメントの後に続けられる。

i) PA, CH

親(PA)と子(CH)のオーダー制御コードは親(オリジナルオーダー)を変える事なく「親オーダー」から「子オーダー」を生み出して良い。PAのORC-1-オーダー制御値を持つ1個以上のORCセグメントは、CHのORC-1-オーダー制御値を持つ1個以上のORCセグメントが後に続く。ORC-6-応答フラグの値によってOBRセグメントが存在せねばならないかどうか決定される。たとえば、細菌培養が2つの生物と対応する感受性試験の結果を生成したと仮定する。そのときセグメントのシーケンスは、次の通りである：

図 4-4. Example of two child orders

Segment	Order Control	Comment
ORC	PA	1st parent ORC
ORC	CH	1st child ORC
OBR		1st child order
ORC	CH	2nd child ORC
OBR		2nd child order

親子パラダイムの依頼者番号の割り当ては、実施者の依頼者が子オーダーを生成するかどうか、または依頼者がSN/NAトランザクションをサポートするかどうかに依存する。依頼者が子オーダーを作成するならば、それはその通常の手続きに応じてそれらの依頼者番号を割り当てる。実施者が子を作成するならば、そこで2つの可能性がある：各々の子はその親の依頼者番号を受け継ぐか、あるいは、実施者は依頼者が依頼者番号を割り当てるよう要求するためにSN/NAトランザクションを使用する。どちらのケースでも、実施アプリケーションは、その通常の手続きに応じて子の実施者番号を作成する。

子オーダーが送られるときは常に、ORCセグメントのORC-8-親に、親の実施者番号(実施者から開始するならば)および親の依頼者番号(実施者から開始するならば、あるいは依頼者から開始するならば)が割り振られる。

親子のメカニズムは、たとえば、毎朝、連続して3回のEKGのオーダーを発行するといったように、親オーダーを拡張することのために使用される。

j) RE

検査付帯情報コードは、オーダーと共に患者固有情報を送るのに使用される。オーダー詳細セグメント(たとえば、OBR)の後には、1個以上の検査セグメント(OBX)を続けることができる。ORUメッセージとして伝えることができるいかなる検査情報も、このメカニズムで伝えることができる。結果がオーダーと共に送られるときは、結果は、そのオーダーの直後に続けられるべきである。

次の例は、3個の処方オーダーのためのセグメントのシーケンスを、REコードの使用例で示す。

図 4-5. RE usage (example)

Segment	Order Control	Comment
MSH		
PID		
ORC	NW	First new order
RXO		First order segment
ORC	NW	2nd new order
RXO		2nd order segment
[ORC	RE	Patient-specific observation, optional in V 2.2
OBR]		Observation OBR, optional in V 2.2
OBX		An observation segment
OBX		Another observation segment
OBX		Another observation segment
OBX		Another observation segment
ORC	NW	3rd order
RXO		3rd order segment

HL7のこのバージョンにおいて、結果は、1個以上のOBXセグメントとしてオーダーと共に送ることができる。但し、ORCとOBRセグメントを必ずしも含む必要はない。

検査情報は、ORCを使用せずに、ORUメッセージを用いて伝えることができる。

ORUメッセージのOBRセグメントに含まれない情報を伝える必要が生じるときがある。こ

の場合、ORCがORUメッセージに含まれることを推奨する。

REのオーダー制御値は、ORMメッセージにおいてのみ要求される。オーダーの後に検査結果(OBX)が続くことを示唆するためである。REコードはORUメッセージでは必要ではない。なぜならOBRセグメントの後に検査結果(OBX)を続けることができるからである。

k) RR

下位互換性のため。現在のバージョンにおいては、受付了解応答に等しい。要求受信コードは、オーダーメッセージが受け取られて、後で処理されることを示す。すなわち、そのオーダーは、より正確な応答をするための処理をまだ実行していないということである。

l) SN, NA, NW

オーダー番号の要求に関与する3つの状態がある(ORC-2-依頼者オーダー番号またはORC-3-実施者オーダー番号)

- 1) 実施アプリケーションが、たとえば、HISのような集中アプリケーションからORC-3-実施者オーダー番号を要求する必要があるとき。
- 2) 実施アプリケーションが、たとえば、オーダのような他のアプリケーションからORC-2-依頼者オーダー番号を要求する必要があるとき。
- 3) アプリケーション(実施アプリケーションでない)が新規オーダーのためにORC-3-実施者オーダー番号を割り当てたいとき

1) 実施アプリケーションが、集中実施者オーダー番号を必要とする場合。

SN 送信オーダー番号コードは、実施者のために、ORC-3-実施者オーダー番号をある、HISのような集中(その他のアプリケーションと呼ぶ)から要求するためのメカニズムを提供する、たとえば中央HISである。これはSNのORC-1-オーダー制御値を含んでいるORMメッセージを送ることによって行う。このORCはNullのORC-3-実施者オーダー番号とORC-2-依頼者オーダー番号を持つ。これらは実施者がオーダーを開始するとき、実施アプリケーションによって作成されたものである。

ORM(SN型)メッセージは、以下の2つの方法によって肯定応答される。

- i) OKのORC-1-オーダー制御値を含んでいるORRメッセージによる。要求されなかったORMメッセージは、NAのORC-1-オーダー制御値つきのORCを含んでいて、後のある時間に送られる。
- ii) 以下で述べるNAのORC-1-オーダー制御値を含んでいるORRメッセージによって実現できる。

NA 番号を割り当てられたコードは、その他のアプリケーションが実施アプリケーションに、最近割り当てられた実施者オーダー番号を知らせることを許す。ORC-1-オーダー制御値は、NAの値、ORC-2-依頼者オーダー番号(SN値を持つORCから)、および最近割り当てられた実施者オーダー番号を含む。

注： 依頼者オーダー番号と実施者オーダー番号の両方が、実施者のアプリケーションIDを持つ。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
SN	filler application	placer order number*filler application ID	null
NA	other application	placer order number*filler application ID	filler order number*filler application ID

2) 実施アプリケーションが、依頼者オーダー番号を必要とする場合

SN 送信オーダー番号コードは、実施アプリケーションがORC-2-実施者オーダー番号をその他のアプリケーションから要求するためのメカニズムを提供する。これはSNのORC-1-オーダー制御値を含んでいるORMメッセージを送ることによって行う。このORCはnullのORC-2-依頼者オーダー番号とORC-3-実施者オーダー番号を持つ。これらは実施者がオーダーを開始するとき、実施アプリケーションによって作成されたものである。

ORM(SN型)メッセージは、2つの方法によって肯定応答される

- i) OKのORC-1-オーダー制御値を含んでいるORRメッセージによって。要求されなかったORMメッセージは、NAのORC-1-オーダー制御値つきのORCを含んでいて、後のある時間に送られる。
- ii) 以下で述べるNAのORC-1-オーダー制御値を含んでいるORRメッセージによって。

NA 番号を割り当てられたコードは、『その他』アプリケーションが実施アプリケーションに、最近割り当てられたORC-2-依頼者オーダー番号を知らせることを許す。ORCは、NAのORC-1-オーダー制御値、最近割り当てられたORC-2-依頼者オーダー番号、および

ORC-3-実施者オーダー番号(SN値を持つORCから)を含む。

注：新しいORC-2-依頼者オーダー番号は、依頼者のアプリケーションIDを持っている。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
SN	filler application	null	filler order number^filler application ID
NA	other application	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID

3) アプリケーションが、実施者オーダー番号を割り当てたい場合

NWオーダーを作成するアプリケーション(実施アプリケーションではない)が、実施者に新規オーダーの実施者オーダー番号を割り当てたいとき、
または

RO (RO following an RP). この場合、その他のアプリケーションがORC3-実施者オーダー番号を完成する。この時には、実施者オーダー番号の2番目の成分として、実施アプリケーションIDを使用する。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
NW, RO	other application to the filler	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID

m) CN

統合検査結果コードは、複数のオーダーに関連する結果を送るためのメカニズムを提供する。この状態が、通常、放射線科医が、複数のオーダーで表示された複数の検査に対して単一のレポートを作成するときに放射線科レポートに見られる。たとえば、リウマチ性の関節炎患者のひざと手のフィルムは、放射線科医の側でひとつのレポートを生成することがある。そのような結果が報告されるとき、CNコードが最後のORC以外の全てのREを置き換える。結果は最後のORCとそのOBRに続く。3つのORCに続く単一の報告の例は下記の通りである：

```
MSH|...
PID|...
ORC|CN|...
OBR||A4461XA^HIS|81641^RAD|73666^Bilatera| Feet|...
ORC|CN|...
OBR||A4461XB^HIS|81642^RAD|73642^Bilatera| Hand PA|...
ORC|RE|...
OBR||A4461XC^HIS|81643^RAD|73916^Bilatera| Knees|...
OBX||CE|73916&IMP||Radiologist's Impression|...
OBX||CE|73642&IMP||Radiologist's Impression|...
OBX||FT|73642&GDT||Description|...
```

n) UA

オーダー受付不可コードが使用されるのは、新しいオーダーを実施者が受付できないときである。受付できない理由としては、その患者にアレルギーのある薬剤の処方要求したこと、またはそのオーダーを実施するための機器が利用できないことが考えられる。これはMSAセグメント内で定義される通信レベルでの受付とは異なることに留意すること。

o) RF

RFは実施者または依頼者の両方による要求を受け入れる。実施者は依頼者からの補充許可を要求しているかもしれない。依頼者システムは、補充が実施者システムによって行われるよう要求しているかもしれない。

p) AF

AFは補充または補充の量を許可する依頼者からの返答である。

q) DF

DFは依頼者がオーダーの補充を許可しないことを示す。下記のオーダー制御コード理由を使用して、要求拒否の理由を示してもよい。これらの値は、「NCPDF SCRIPT回答セグメントコードリスト修飾子」に由来することに留意すること。

```
AA Patient unknown to the provider
AB Patient never under provider care
AC Patient no longer under provider care
AD Patient has requested refill too soon
AE Medication never prescribed for the patient
AF Patient should contact provider first
AG Refill not appropriate
```

- r) FU
FUは依頼者に対して、実施者が補充を患者の要求によるオーダーに対して発行したことを通知する。
- s) OF
OFは補充に対する依頼者システムの要求に直接応答する。
- t) UF
UFは実施者システムが許可補充要求に対してアプリケーションレベル拒否を示す。

ORC-2 Placer order number 依頼者オーダー番号 (EI) 00216

定義：依頼アプリケーションのオーダー番号

第1成分は、個々のオーダー(たとえば、(OBR))を識別する15文字までの文字列である。それは、依頼者(依頼アプリケーション)によって割り当てられる。それは、特定の依頼アプリケーションからのすべてのオーダーの中から一意に一つのオーダーを識別する。第2成分は依頼アプリケーションのアプリケーションIDを含む。アプリケーションIDは、アプリケーションに一意に関連する6つの文字までの文字列である。ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。2つの成分は、共通の区切り文字によって分離される。

このように一意ではなく、真の依頼者がいくらかあいまいな3つの状態がある。

- a) RU取替えに続く、ROのORC-1-オーダー制御値の場合；
- b) CH(子オーダー)のORC-1-オーダー制御値の場合；
- c) SN(番号を送ること)のORC-1-オーダー制御値の場合；

ORC-2-依頼者オーダー番号がこれらの場合どのように割り当てられるかの詳細については、ORC-1-オーダー制御の下のテーブルの注を参照すること。

ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所でも書式化されている、施設のマスター辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダーの依頼者および実施者以外)がORMとORRのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて述べた)。

ORC-2-依頼者オーダー番号は、OBR-2-依頼者オーダー番号と同じである。依頼者オーダー番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない。その逆もまた真である。もし両方のフィールド、すなわちORC-2-依頼者オーダー番号およびOBR-2-依頼者オーダー番号が設定されるならば、それらは同じ値でなければならない。結果がORUメッセージで送られるとき、ORCは必要ないが、依頼者オーダー識別番号がOBRセグメント内に存在せねばならない。

これらの規則は、上位互換性のためORCとOBRの両方の中に存在している他のフィールドにも適用する。(たとえば、数量/タイミング、親番号、オーダー依頼者、および依頼コールバック用電話番号)。

ORC-3 Filler order number 実施者オーダー番号 (EI) 00217

定義：実施アプリケーションに関連したオーダー番号。その第1成分は、オーダー詳述セグメントを識別する15文字の文字列である(例 OBR)。それは、オーダー実施(受け取る)アプリケーションによって割り当てられる。この文字列は、特定の実施アプリケーション(例 臨床検査)の他のオーダーから、そのオーダー(オーダー詳細セグメントにおいて明示されるように)を、一意に識別せねばならない。一意性は長時間にわたって持続しなければならない。

第2成分は、実施アプリケーションIDを含んでいる。実施アプリケーションIDは、6文字までの文字列であり、アプリケーションをネットワーク上の他のアプリケーションから識別する。実施者オーダー番号の第2成分は、オーダーの実際の実施者を常に識別する。

ある施設または相互通信施設グループは、アプリケーションの一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所でも書式化されている、施設のマスター辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダーの依頼者および実施者以外)がORMとORRのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーション

IDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて確認したように)。

ORC-3.実施者オーダー番号は、OBR-2.実施者オーダー番号と同じある。実施者オーダー番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない。(この規則はORCおよびOBRの中の他の同一フィールドに対するものと同じであり、上位互換性およびASTMとの互換性を促進する。)これが特に重要なのは、結果がORUメッセージで送られる。この場合、ORCは必要ないが、実施者オーダー識別番号がOBRセグメント内に存在せねばならない。

実施者オーダー番号(OBR-3あるいはORC-3)は、オーダーとその関連した検査を一意に識別する。たとえば、ある施設が検査をいくつかの関連アプリケーションから集め、それを共通のデータベースの中に入れ、この共通のデータベースがまた別のアプリケーションによって検査のために照会される、と仮定する。この場合、共通のデータベースアプリケーションによって送られた実施者オーダー番号と依頼者オーダー番号は、それぞれオリジナルの実施者および依頼者であろう。すなわち共通のデータベースアプリケーションによって割り当てられた新しいものではない。

同様に、実施者あるいは依頼者でないオーダーの第三者アプリケーションが、オーダーの状態を修正する(たとえば、それをキャンセルすること)権限があるならば、その第三者アプリケーションは、実施者にORMメッセージを送る。そこには、『CA』に等しいORC-1オーダー制御の付いたORCセグメント、およびオリジナル依頼者オーダー番号および実施者オーダー番号を含む。いずれもそれ自身が割り当てることはない。

ORC-4 Placer group number 依頼者グループ番号 (EI) 00218

定義: オーダー依頼アプリケーションが複数セットのオーダーと一緒にグループ化して後でそれらを識別できるようにする。

第1成分は、15文字までの文字列であって、これがすべての他のオーダーグループを特定の依頼アプリケーションから一意に識別する。それは依頼アプリケーションによって割り当てられて、ORCの依頼者オーダー番号と同じシリーズでもよいが、これは必須ではない。

第2成分は、依頼アプリケーションIDであり、これはORC-2.依頼者オーダー番号の第2成分と同じである。

ORC-5 Order status オーダー状態(ID) (ID) 00219

定義: オーダーの状態。取りうる値についてはテーブル0038オーダー状態を参照すること。このフィールドの目的は、要求された場合または状態が変更になった場合に、オーダーの状態を報告することであり、オーダー自体を処理する事ではない。オーダー状態は、メッセージが送られるとき送信アプリケーションに知られていた状態を反映させる。実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。

テーブル0038に示すオーダー状態は、テーブル0119オーダーコントロールと同じ様な内容を含んでいるが、目的は異なる。オーダー状態は、ORC-1-オーダー制御値のSRまたはSCにおいて典型的に使用される。これはオーダーの状態を、要求を受けた時または当事者に随時報告するためである。

テーブル 0038 - Order status

Value	Description
A	Some, but not all, results available 部分的完了
CA	Order was canceled オーダーが取り消された
CM	Order is completed オーダーが完了した
DC	Order was discontinued オーダーが中断した
ER	Error, order not found エラー、オーダーが見つからない
HD	Order is on hold オーダーが保留
IP	In process, unspecified 進行中、不定
RP	Order has been replaced オーダーが取替えられた
SC	In process, scheduled 進行中、予定

ORC-6 Response flag 応答フラグ (ID) 00220

定義: これによって依頼者(送信)アプリケーションは、実施者から返されるべき情報の量を決定できる。要求されたレベルの応答は、即時には可能ではないかもしれない、しかし、それが可能なときは、実施者(受信)アプリケーションは、情報を送らなければならない。フィールドがnullであるとき、フィールドのデフォルト値はDである。取りうる値についてはテーブル

0121-応答フラグを参照のこと。

テーブル 0121 - Response flag

Value	Description
E	Report exceptions only 例外のみを報告
R	Same as E, also Replacement and Parent-Child Eと同じ、また取換えおよび親子
D	Same as R, also other associated segments Rと同じ、また他の関連セグメント
F	Same as D, plus confirmations explicitly Dと同じ、プラス明確な確認
N	Only the MSA segment is returned MSAセグメントのみが返却される

ORC-7 Quantity/timing 数量/タイミング (TQ) 00221

定義：優先度、数量、頻度およびアトミックサービスのタイミングを決定する。オーダーセグメントは、アトミックサービスを記述するものとして考えられる必要がある。それは、第4.4節において詳細に定義される複合フィールドである。

たとえば、OBRセグメントが血液の単位を記述するとし、このフィールドによって三つの単位が毎朝続けて与えられるように要求する。この場合ORC-7-数量/タイミングは『1-XQAM X3』である。ORC-7-数量/タイミングは、OBR-27-数量/タイミングと同じである。

ORC-8 Parent 親 (CM) 00222

Components: <parent's placer order number (EI)> ^ <parent's filler order number (EI)>

Subcomponents of parent's placer order number: <entity identifier (ST)> & <application identifier 1(IS)> & <universal identifier (UI)>

Subcomponents of parent's filler order number: <entity identifier (ST)> & <application identifier 1(IS)> & <universal identifier (UI)>

定義：親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関係付ける。親子のメカニズムは、ORC-1-オーダー制御の注のところで述べられる。第1成分は、親オーダーの依頼者オーダー番号を含んでいる。それは、オーダーが子であるとき要求される。

第2成分は、親オーダーの実施者オーダー番号を含んでいる。

依頼者オーダー番号と実施者オーダー番号との成分は、このフィールドの2つの成分の副成分として送られる。ORC-8-親は、OBR-29-親と同じである。

ORC-9 トランザクション日時 Date/time of transaction (TS) 00223

定義：このトランザクションがオーダーアプリケーションに入る日時。新規オーダーを作成するメッセージの場合は、これは、オーダーが入れられた日付および時間である。

たとえば、キャンセルなどの他のメッセージの場合は、このトランザクションが送信アプリケーションに入る日時である。この日付と時間は、現在のトランザクションのためのもので、オリジナルのオーダーへの訂正のための『取り換え』た時刻ではない。同様に、このセグメントのORC-10-入力者、ORC-11-検証者、およびORC-13-入力場所も現在のトランザクションに関連づけられ、オリジナルのオーダーに関連づけてはいない。

ORC-10 入力者 Entered by (XCN) 00224

定義：要求をアプリケーションに実際に打鍵した人の所属氏名。それは、要求が不正確に入れられ、関連部門が要求を明らかにする必要がある場合、監査証拠となる。現場の取り決めによって、ID 番号または名前成分は、省略されてもよい。

ORC-11 Verified by 検証者 (XCN) 00225

定義：入れられた要求の精度を検証した人の所属氏名。それが使用されるのは、要求が技師によって入力され、看護婦などのより高い権威者によって検証される必要がある場合である。現場の取り決めによって、ID 番号や名前成分は、省略されてもよい。

ORC-12 Ordering provider オーダー依頼者 (XCN) 00226

定義：要求を作成することに責任がある依頼する医師などの所属氏名。ORC-12-オーダー依頼者は、OBR-16-オーダー依頼者と同じである。

ORC-13 Enterer's location 入力者の場所 (PL) 00227

定義：要求を入力した人の場所(たとえば、部門、階)。それは、部門のあるサブカテゴリーを含むためサイト固有のベースに基づいて使用されてもよい複合フィールドである。たとえば、ICU4は、4階のICUの場所の呼称とするなど。

- ORC-14 Call back phone number コールバック用電話番号 (XTN) 00228**
 定義： 要求またはオーダーに関して、必要な他の情報を確認するための電話番号。ORC-14-コールバック用電話番号は、OBR-17-オーダーコールバック用電話番号と同じである。
- ORC-15 Order effective date/time オーダー有効の日時 (TS) 00229**
 定義： 変更要求が有効になった、あるいは、有効になる予定の日時。
 ORC-9-トランザクション(日時)が、ORC-15-オーダー [訳注：原文はORC-16-オーダーとなっているが、明らかな間違いのため修正した] 有効日時の後またはそれに等しくなっているならば、ORCおよびその下のセグメントにおけるデータ値はこの日時に有効になった。
 ORC-9-トランザクション 日時がORC-15-オーダー有効日時より前ならば、ORCおよびその下位セグメントのデータ値は、オーダー有効日時に有効になるよう計画される。
 有効ORC-15-オーダー有効日時が空白にしておかれるならば、その値は、ORC-9-トランザクション日時と等しいと仮定される。また、トランザクション日時が空白であるならばMSH-7-メッセージと等しいと仮定される。
 ORC-15-オーダー有効日時(同じORCセグメントのオーダー制御コードイベントのために)が、ORC-7-数量/タイミングと異なる場合は、ORC-15-オーダー有効日時が優先する。一例としてORCイベントが実施者への連続オーダーに対する中断要求であり、かつオーダー有効日時がORC-7-数量/タイミング終了日時の前にあるならば、オーダー有効日時が優先する。ORCの中で識別されたオーダーが子を持っているならば、開始しなかった子は取り消される必要がある；プロセスに子がいるならば、それは中断される必要がある；子が中断できる点を超えて前進しているならば、その状態は影響されない。
- ORC-16 Order control code reason オーダー制御コード理由 (CE) 00230**
 定義： オーダー制御コード(テーブル0119)によって述べたオーダーイベントの理由の説明。コード化したあるいはテキスト形式のどちらでもよい。オーダー特定のセグメント(たとえば、RXO、ORO、OBR)の後のNTEは、その特定のセグメントのためにコメントとなる。もうひとつ、オーダー制御コード理由の目的には、そのオーダーイベントの理由を拡張することがある。
 ORC-1-オーダー制御がNWであるときは、ORC-16-オーダー制御コード理由に、普通は値を設定しない。ただし、設定できないわけではない。取り消されたオーダーのときには、たとえば、このフィールドは、一般的に、キャンセルの理由を説明するために使用される。
 良く実証されたアレルギーのために医者からの処方オーダーをキャンセルした調剤システムは、このフィールドでアレルギーの事実が多分報告される。
 それが薬理相互作用のためにこのオーダーをキャンセルしたならば、このフィールドは、相互作用物質の少なくとも名称(およびコード、必要とするならば)となる。文章で相互作用、および相互作用の激しさの程度を述べる。
- ORC-17 Entering organization 入力組織 (CE) 00231**
 定義： 入力者がオーダーを入力/修正した時に属していた組織
- ORC-18 Entering device 入力装置識別 (CE) 00232**
 定義： オーダーを入力するため使用された物理的装置(端末やPC)の識別子
- ORC-19 Action by 発動者 (XCN) 00233**
 定義： 対応するオーダー制御コードによって表されたイベントを発動した人の所属氏名。たとえば、オーダー制御コードがCA(オーダーキャンセル依頼)であるならば、このフィールドは、オーダーキャンセルを要求した人を表す。

6.7 OBR - observation request segment 検査要求セグメント

概説(ASTM 1238-91から抜粋)

検査要求(OBR)セグメントは、診断、検査、身体検査あるいは所見などを要求するオーダーに特有な情報を伝送する。

検査要求セグメントは、診断要求(たとえば生理検査、EKG)あるいは検査要求(たとえば生体検査、身体検査)など特定要求の属性を定義する。依頼者があるまとまった検査を要求する場合、必ずオーダーセグメントを指定する。生理検査の場合、通常はオーダーセグメント内の情報が一つの検体に適用される。しかし、依頼と生理検査には1対1の関係があるわけではない。互いに異なる複数の検査項目が一つの検体に対し実行できるとしても、それぞれの検査項目は通常、自分専用のオーダーセグメントを必要とする。この場合、その検体を扱うそれぞれのオーダーセグメント内でその検体情報を複写しなければならない。その他の診断検査(たとえば胸部X線検査)では通常、個々の診断検査ごとに一つの独立したオーダーセグメントを生成する。

単一のオーダー・セグメントにより複数の検査項目セットを依頼することができるが、検査実施者は、それぞれの実施項目セット(電解質、CBC、バイタルサインなど)ごとに、単独のオーダーセグメントを生成するものとする。サービス担当は、検査の報告にさいし、オリジナルのオーダーセグメントから新規オーダーセグメントそれぞれに適切なオーダー(検体)情報を複写し、一つ一つの“オーダー”セグメントが各検査項目セットの“ヘッダー”として依頼者に返信されるようにする。

たとえば血液検体に溶血が見られたために、依頼された検査項目セットを実行できない場合、オーダーセグメントは、X(検査が実行されなかったことを示す)相当の「OBR-25-結果状態」と共に依頼者に返される。この場合、検査セグメントは伝送されない。

検査がうまく終了した場合、依頼者に帰ってくるメッセージには、オーダーにより生成された検査ごとに、オーダー・セグメント(OBR)と検査(OBX)セグメントがこの順番で含まれる。そのような検査セグメントの数は、プロセスで実行されたそれぞれの測定の数によって異なる。

依頼者は、依頼のさいOBXセグメントを送信し、結果診断に必要な臨床データをサービス担当者に提供することができる。

図4-8にOBRセグメント属性一覧を示す。このセグメント内の(+)項目は依頼者ではなく実施者が作成し、その値は、OBRセグメントが報告書の一部として返信されたとき必要に応じて設定する。したがって、実施者が新規オーダーを受理する場合、(+)項目の値を設定することはない。ただし実施者がオーダーを開始する場合は例外である。その場合、実施者オーダー番号が設定されるが、依頼者オーダー番号はblankでもよい。

検体関連検査の場合、星印(*)の付いたフィールドのみが関係する。依頼者が検体を受理する場合は、依頼者がこれらのフィールドを指定する。実施者が検体を受理する場合、実施者がこれらのフィールドを指定する。

OBR-7-検査/採取日時およびOBR-8-検査/採取終了日時(フラグを#に設定)は生体関連検査時間である。検体検査の場合、この2つの情報は検体採取の開始と終了を表す。患者を直接検査する(BPや胸部X線など)場合は、検査の開始・終了時刻を表す。

図 4-8. OBR attributes OBR属性

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME
1	4	SI	C		00237	Set ID - Observation Request ID設定 -- 検査要求
2	75	EI	C		00216	Placer Order Number 依頼者オーダー番号
3	75	EI	C		00217	Filler Order Number + 実施者オーダー番号
4	200	CE	R		00238	Universal Service ID 検査項目群ID
5	2	ID	B		00239	Priority 優先度
6	26	TS	B		00240	Requested Date/time 要求日時
7	26	TS	C		00241	Observation Date/Time # 検査/採取日時
8	26	TS	O		00242	Observation End Date/Time # 検査/採取終了日時
9	20	CQ	O		00243	Collection Volume * 採取量
10	60	XCN	O	Y	00244	Collector Identifier * 採取者識別子
11	1	ID	O		00245	Specimen Action Code * 検体処置コード
12	60	CE	O		00246	Danger Code 危険(検体)コード
13	300	ST	O		00247	Relevant Clinical Info. 関連臨床情報
14	26	TS	C		00248	Specimen Received Date/Time * 検体受理日時
15	300	CM	O		00249	Specimen Source * 検体採取元
16	80	XCN	O	Y	00226	Ordering Provider 依頼者

17	40	XTN	O	Y/2	00250	Order Callback Phone Number オーダーコールバック用電話番号
18	60	ST	O		00251	Placer field 1 依頼者フィールド1
19	60	ST	O		00252	Placer field 2 依頼者フィールド2
20	60	ST	O		00253	Filler Field 1 + 実施者フィールド1
21	60	ST	O		00254	Filler Field 2 + 実施者フィールド2
22	26	TS	C		00255	Results Rpt/Status Chng - Date/Time + 結果報告/状態変更-日時
23	40	CM	O		00256	Charge to Practice + 課金
24	10	ID	O		00257	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID
25	1	ID	C		00258	Result Status + 結果状態
26	200	CM	O		00259	Parent Result + 親結果
27	200	TQ	O	Y	00221	Quantity/Timing 数量/タイミング
28	150	XCN	O	Y/5	00260	Result Copies To 結果配布先
29	150	CM	O		00261	Parent Number * 親番号
30	20	ID	O		00262	Transportation Mode 患者移動モード
31	300	CE	O	Y	00263	Reason for Study 検査理由
32	200	CM	O		00264	Principal Result Interpreter + 結果判定責任者
33	200	CM	O	Y	00265	Assistant Result Interpreter + 結果判定アシスタント
34	200	CM	O	Y	00266	Technician + 医療技術者
35	200	CM	O	Y	00267	Transcriptionist + 口述記録者
36	26	TS	O		00268	Scheduled Date/Time + 予定日時
37	4	NM	O		01028	Number of Sample Containers * 検体容器数
38	60	CE	O	Y	01029	Transport Logistics of Collected Sample * 採取検体搬送
39	200	CE	O	Y	01030	Collector's Comment * 採取者コメント
40	60	CE	O		01031	Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者
41	30	ID	O		01032	Transport Arranged 搬送調整結果
42	1	ID	O		01033	Escort Required 随行者要否
43	200	CE	O	Y	01034	Planned Patient Transport Comment 患者搬送コメント

OBRフィールド定義

OBR-1 Set ID - observation request セットID-OBR (SI) 00237

定義： 最初の送信オーダーには通し番号1が割り当てられ、2番目のオーダーには通し番号2が割り当てられるものとする。3番目以降同様。

OBR-2 Placer order number 依頼者オーダー番号 (EI) 00216

定義： ORC-2-依頼者オーダー番号に同じ。依頼側検体番号など。

第1成分は最大15文字の文字列で個々のOBRを識別する。これは依頼者(依頼アプリケーション)によって割り当てられ、ある依頼アプリケーションから送信されるすべてのオーダーの中から特定のオーダーを一意に識別する。アプリケーションIDは最大6文字の文字列で、特定のアプリケーションと一意に結び付けられている。

OBR-3 Filler order number 実施者オーダー番号 (EI) 00217

定義： オーダーおよびその関連する検査に対する永久的な識別子。ラボ側検体番号など

第1成分は個々のOBRを識別する文字列である。これは実施(受信)アプリケーションによって割り当てられ、ある実施アプリケーション(たとえば臨床生理検査室)からのすべてのオーダーの中から特定のオーダーを一意に識別する。第2成分は実施アプリケーションIDである。OBR-3-実施者オーダー番号はORC-3と同一である。

OBR-4 Universal service ID 検査項目群ID (CE) 00238

定義： 要求された検査/試験/セットの識別子コード。このコードは、ローカル・コードまたは"汎用"コードのいずれか、もしくはその両方を基準に設定できる。"汎用"手順による識別子を使用することが望ましい。

個々の検査項目を指示する場合は日本臨床病理学会臨床検査項目分類コードでコーディングした使用。検査項目コードについてを参照。

個々の検査項目をOBXセグメントで指定する場合は、検査分野や検査セットを設定する。その場合コードや名称は施設固有である旨をコード体系Lで明示する。例：C123^生化学^L。

OBR-5 Priority 優先度 (ID) 00239

定義： 使用せず。以前の優先度はOBR-27-数量/タイミングの第6成分で指示する。